



◎住所の枝番号対策/我孫子駅エレベーター工事

～私の市政に対する本会議での一般質問～

一、働き方改革と市民の生活について

1、公共性の高い地域貢献活動という基準で、職員の副業を広く認めては⇒働き方を柔軟に対応していく。職員の能力アップに資するので研究

2、地元雇用創出、通勤時間の短縮、職住近接の実現の為にシェアオフィス、サテライトオフィスを行政で支援しては⇒空き店舗対策創業支援制度活用できるか検討

3、新築に伴い土地の分割による同じ住所が増加。郵便物、宅急便は不便。新しい住所表示について枝番号をふるなど何か対策は⇒千葉、船橋では導入済み。早急に枝番号の対策をする！

二、スポーツ行政について

1、手賀沼キッズラン・チームランうなぎカップについて
(ア)親子ラン、キッズラン、5時間たすきをつなぐリレーが内容。交流人口の増加目的がある。音楽、BGM、等で盛り上げるなどイベント性を充実させ、観覧者を増やす努力を⇒イベント音楽は盛り上がるので検討課題にしていく
(イ)若いチームの参加が少ない。、中学生や高校生のチームは⇒競争ではない練習の一環として市内中高校に呼びかける

2、子どもを対象にした総合型スポーツクラブ設置について
高齢者を中心としたものではなく、卓球、硬式テニス、バドミントン、バレーボール等の子ども達を対象にした総合型スポーツクラブを設置を⇒市内の大学や専門家も協力的。下準備して第3小学校区に早い機会に設置。

(ウ)参加者を増やすため、仮装部門などを設けたり。SNSを利用しては。農産物直売場との連携は⇒FUN RUNとして取り組む。農産物は商品として売り込んだりも

三、認知症と介護予防について

1(ア)、認知症高齢者への対策。認知症高齢者を支える市民の養成について⇒認知症サポーター養成制度の受講者は1万人超え県内トップレベルの数

(イ)、50代、60代ぐらいの世代で理解が薄い、認知症看者との交流を。⇒認知症カフェで交流自身の経過はチェックリスト等で気づきを誘導

2(ア)、助けあいや社会参加などの社会的要因で要介護は半分減、認知症は3割減に。社会参加が多い高齢者は要介護になる確率が低いという日本の研究結果も。ボランティアサークルや。

自治会活動へ促すような政策を考えては⇒定年後に遊ぶ、学ぶ事を地域で進める。シルバー人材制度も利用

(イ)、当市は高齢者のみの世帯が他市より多い現実。社会的に孤立した独居高齢者を支える施策を⇒保健師や民生委員がフォローし社会参加を呼び掛ける

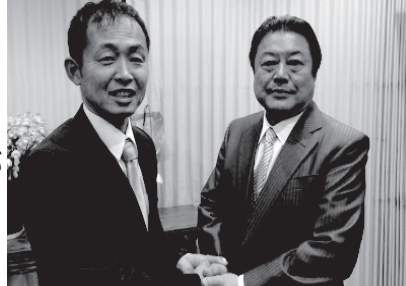
四、我孫子駅ホームエレベーター設置

1、私も賛成し進めていた駅中カフェ、外観改修など含めた自由通路建設計画が2009年にあったが延期に。今回建設費は東京オリンピックなどで随分高くなる予想。前回の自由通路建

設が中止になった経緯は⇒交付税措置など財政が不透明が一因。議会の反対も原因だった

2、我孫子駅の改修工事は長年市長がJR東日本と交渉を重ねてきた結果であり悲願。我孫子駅ホームエレベーター設置工事の見通しは⇒基本設計を立ててから見通しが立つ。未定だがエレベーター工事は単独設置の予定

4期目当選した星野市長と



【平成31年度一般会計379.7億円^{前年度比0.7%減} 「星野市長4選！」

■＜収入＞

- ・市税17,192百万円 0.5%増額
- ・地方消費税交付金 2,130百万円 3.9%増額
- ・ふるさと納税寄付金 17,902千円 98.4%増額
- ・市債 25.9 億円(20.6%減)

＜市債より返済金(公債費)が32.1億円と財政健全化＞

＜個別支出＞(政策的経費 総額は19億8147万円)

- ・シティプロモーションの推進 1,810万円
- ・市制施行50周年 記念年賀はがき 206万円
- ・総合計画の策定 1,556万円
- ・ふるさと納税対策 807万円
- ・市民成年後見人養成 125万円
- ・風しん予防接種 1.5万円
- ・障害者支援施設等の整備 843万円
- ・学童保育室民間委託(2小、新木小) 2,104万円
- ・子ども総合相談の推進 527万円
- ・新クリーンセンター整備事業 4756万円
- ・空き店舗活用補助事業(過年度分のみ)169万円
- ・下新木踏切工事(踏切改良) 7,300万円
- ・下戸・中里線用地取得 2,640万円
- ・若い世代の住宅取得補助 3,479万円
- ・結婚相談所運営委託 247万円
- ・ALTの増員(市内で12人止まり) 0円
- ・市民体育館改修事業 735万円
- ・高齢者なんでも相談室の運営・支援 1,400万円

■応援していました星野順一郎市長が1/20の市長選挙にて4期目の当選を果たしました。

◎星野順一郎 26,082票 投票率40.86%
飯塚誠 18,663票

市長選挙は、現職の圧勝という結果になりましたが、選対としては、途中「市長の給与問題」にて事実とは違うビラが出され苦慮しました。「市長は自分の給料だけ挙げて良い思いをしている!」という間違った情報が流され、私も選対として頭を悩ませ、確認団体として急遽反論ビラを作成しました。

相手方は、枝野立憲民主党党首など党首クラスの野党の方が我孫子に何度も応援に入り、福嶋浩彦前市長も全面的に応援しましたが、「過去の人」では支持が広げられなかったようです。対して星野陣営は自民党の大物も呼ばずに与野党対決を拒否して臨んでいました。

相手方は現職の批判が多く、我孫子市の明るい未来を具体的に描けなかったのも支持が伸びなかった原因でしょう。争点がぼやけている時は、批判だけでは効果がないのでは。投票率も2期前の時のように45%越えとならなかったのも、市民が選挙を冷めた見方をしたからでしょうか。

私は、市議会議員として、これからも市長と共に街の未来を考え、時には議論し、そして提案をし、住んでよかったと思えるような子ども達が誇りの持てる我孫子の街づくりに邁進していきます!!

◎「今井まさる」県議を応援します!



市長選挙が終わったばかりですが、今年は続けて4/7に県議会議員選挙、7月には参議院議員選挙11月には市議会議員選挙があります。私は次期県議会議員選挙に再び立候補予定の現職の今井まさる県議を応援します。今井県議は、印西まで手賀沼沿いをつなぐ手賀沼ふれあいライン(3-5-15号線バイパス)の開通に尽力し

ており、もう少しで完成予定ですので、是非ともやり遂げて貰わなくてはなりません。東京オリンピック・パラリンピックの聖火ランナーを我孫子市内に通すという夢を桜田大臣や森田知事を動かして実施して貰いたいとも考えています。また、今井氏は国と市を繋ぐパイプ役として、市民の意見を県政に反映し実績十分です。こうした理由より、我孫子の為に今井まさる県議を応援します!

＜一寸一言＞■東洋経済オンラインで「ディズニーランド逃した我孫子の残念な歴史～現在は上野東京ライン開業で存在感高まる」という記事。読んでみると、当時我孫子市が手賀沼の「ディズニーランド」招致に躍起になって、前のめりになっていた様子が詳しく書かれていました。我孫子市が浦安のようになっていた可能性もあったという事ですが、今考えますと、自然豊かなのんびりした我孫子で良かったという意見が多いようです。ダメになった一つの原因が手賀沼の汚染だったという事でした。手賀沼は我孫子市のシンボルとしてもっと綺麗にしていかなければならないという論調でした。私も手賀沼を愛する議員として、綺麗な手賀沼への知恵を絞っていきます!



E-mail : info@kai-toshimitsu.com

1972年 7月23日 大分市生まれ(楽観的なO型)

1995年:慶応義塾大学法学部政治学科卒業

1995年:大手小売業に入社

2004年:衆議院議員桜田義孝秘書(06から公設秘書)

2007年:我孫子市議会議員初当選(現在3期目 2192票当選)

◎趣味:ランニング(フル3時間12分)読書(漫画も)、テニス(連盟所属)、野球(連盟所属)

◎マイブーム:ラーメン食べ歩き、パソコン、イクメン修行中

◎家族:5人(妻、息子6歳【エーデル】、女兒双子3歳【柏鳳】)

★Facebook Instagramやっています。

＜主な役職＞、監査委員/自民党我孫子市広報部長/隊友会/我孫子三田会/全国若手市議会議員の会元千葉ブロック会長/＜地域活動＞保護司/NPO法人手賀沼フィルムコミッション理事/我孫子市テニスクラブ/ウィングAC/交通安全推進隊/天ちゃんあ!美フルクラブ

☆『生き甲斐、やり甲斐、育て甲斐』のある街作り